

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Vulvar Paget's disease: a clinicopathologic and immunohistochemical study of 19 cases	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ1-6	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Am J Surg Pathol	
	雑誌 ID		
	巻	21	
	号	10	
	ページ	1178-87	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1997	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Goldblum JR	Department of Anatomic Pathology, Division of Pathology and Laboratory Medicine, The Cleveland Clinic Foundation
その他著者 1		Hart WR	同上
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	外陰部パジェット病に対する免疫組織化学的検討	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	Department of Anatomic Pathology, Division of Pathology and Laboratory Medicine, The Cleveland Clinic Foundation	
	対象者	外陰部原発パジェット病 18 例および膀胱移行上皮癌のパジェット現象 1 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	外陰部原発パジェット病 16 例中 14 例で、CK7+/CK20-/GCDFP15+、残り 2 例は CK7+/CK20+/GCDFP15+であった。膀胱移行上皮癌合併 1 例で、CK7+/CK20+/GCDFP15-であった。	
	結論	外陰部原発パジェット病と膀胱移行上皮癌のパジェット現象の鑑別にサイトケラチン 20 と GCDFP15 による免疫組織化学染色は有用である。とくに GCDFP15 陽性の場合、有用性は高い。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	清原隆宏	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 解析対象が少数であり、免疫組織化学染色による鑑別の精度は評価不能である。	